

## 第55回近畿地区国立大学体育大会（体操競技）実施要項

〔1〕競技日程 平成29年7月29日（土） 公式練習日：7月28日（金）

〔2〕競技会場 府民共済 SUPER アリーナ（大阪市此花区北港緑地 2-2-15）

〔3〕種目 男子6種目、女子4種目

男子・・・ゆか、あん馬、つり輪、跳馬、平行棒、鉄棒

女子・・・跳馬、段違い平行棒、平均台、ゆか

〔4〕競技次第

- |           |       |       |
|-----------|-------|-------|
| 1. 開会の辞   | 競技委員長 | 9:00～ |
| 2. 優勝杯返還  | 前回優勝校 |       |
| 3. 競技上の注意 | 審判長   |       |
| 4. 競技     |       |       |
| 5. 競技終了   |       |       |
| 6. 成績発表   | 学生役員  |       |
| 7. 表彰     | 競技委員長 |       |
| 8. 閉会の辞   | 競技委員長 |       |

〔5〕大会役員

競技委員長	杉本直三（京都大学）
専門委員	古和悟（大阪教育大学）
総務委員	瀧本健（京都大学）
	廣瀬泰子（京都大学）
	川野裕介（京都大学）
	田原紘樹（京都大学）

〔6〕競技役員

審判長	大阪府体操協会 片山潤
審判員	大阪府体操協会 他

〔7〕学生役員

学生委員	島元謙吾
総務係	青葉隆仁
受付係	小槇祐輝
記録係	青木基
放送係	岡田悠里

（京都大学）

## 〔8〕実 施 要 項

### 1. 参加申込

- (1) 締切期日 平成29年7月3日(月) 必着
- (2) 申込先 〒606-8501 京都市左京区吉田本町  
京都大学教育推進・学生支援部厚生課課外活動掛  
(TEL:075-753-2511 FAX:075-753-2512 mail:840kagai@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp)
- (3) 参加資格 (ア) 本大会規程第13条適用  
(イ) 選手は医師の診断により大会参加が適当と認められた者で、当該大学長の承認のある者に限る。
- (4) 参加人数 1チームは3~4名をもって構成し、各大学男女とも複数チームの出場を認める。ただし、団体の表彰対象となるのは、最も成績の良いチームとする。
- (5) 申込方法 所定の依頼方法(参加申込)により提出すること。
- (6) 派遣審判員 3名以上出場の大学は1名、5名以上出場の大学は2名の審判員を派遣すること。なお、審判員の派遣ができない場合には1名10,000円で本部に依頼すること。

### 2. 競技方法

- (1) 試合規則 男女とも本大会の競技規定に基づくものとする。
- (2) 得点 団体得点は、各種目上位3名の合計得点とする。
- (3) 審判 本大会は2審制を採用し、少なくとも審判長及び主任審判は、大阪体操協会に委嘱する。
- (4) 実施技申告 採点の簡易化、高速化のために、全選手は、自身の演技を記した演技構成難度申請用紙のDスコアを前日のCM会議までに所定の用紙に記入の上、提出すること。尚、提出した演技内容と実際の演技が異なった場合も減点の対象にならない。(Dスコア確認作業簡略化のため、必ず2人以上で確認作業を行った後、提出すること。)

### 3. 表 彰 団体総合、個人総合、個人種目別、それぞれ3位までとする。

### 4. そ の 他

- (1) C・M会議は、7月28日(金)18時30分から行う。
- (2) 選手の変更は、C・M会議で受け付ける。以後の変更は認めない。
- (3) 会場の使用は、7月28日(金)15時からです。
- (4) 試合会場の器具のセッティングは16時30分から参加大学全員で行う。
- (5) 選手は、ゼッケン(縦10cm×横12cmの白地)を付けること。  
競技冊子の選手名簿に記載されている番号を、1cm前後のゴシック体で、「男子は黒、女子は赤」の楷書で記入すること。

# 試 合 規 定

## 1. 男子競技規則（高等学校適用規則）

\*次に示すもの以外は、2017年版採点規則（日本体操協会発行）を適用する。

### (1) 終末技について

A 難度・・・・・・・・・・ +0.10

B 難度・・・・・・・・・・ +0.20

### (2) 技の認定と難度の設定について

1) 下記に示す技は、2017年版採点規則とは異なる難度の認定および設定を行う。

ここに示した以外の振動から倒立位になる技は採点規則通りである。

#### 【つり輪】

・ 屈腕ほん転逆上がり倒立（屈腕後方車輪倒立）：C 難度（グループ I）

・ 屈腕後ろ振り上がり倒立（屈腕前方車輪倒立）：C 難度（グループ I）

\* 屈腕の減点およびその他の減点、伸腕の捌きと同一枠

#### 【平行棒】

・ 前振りひねり支持 45° 未満：C 難度（グループ I）

\* 角度減点（0.5）およびその他の減点、倒立位の捌きと同一枠

#### 【鉄 棒】

・ 足裏支持回転（ひねり）倒立：A 難度（グループ III）

2) 下記の終末技はA 難度（グループ IV）とする。

つり輪、平行棒、鉄棒の前方・後方かかえ込み宙返り下り

### (3) 加点について

あん馬を除く 5 種目において終末技の着地をとめた場合、E 審判によって 0.10 の加点を与える。

### (4) ゆかの 2 回宙返り技について

ゆかにおいて 2 回宙返り技がない場合、0.1 の ND（ニュートラルディダクション）とする。

### (5) つり輪の力技に関して

D 難度以上の力静止技（グループ II および III）に対して、1 技につき 0.1 の加点を D スコアに行う。

\* ただし、大欠点を伴う実施は不認定となり、加点の対象としない。

### (6) 補足

1) つり輪、跳馬、平行棒、鉄棒において、1 名の補助者をつけることができる。

2) 「服装違反」については、個人に対する減点とし、D 1 審判により決定点から 0.3 の減点となる。

3) オーダーミスについては、個人に対する減点とし、D 1 審判により最初に間違えた選手

の決定点から 0.3 の減点となる。

4) つり輪で着地マットの使用を認める。

## 2. 女子競技規則 (変更規則Ⅱ)

\*2017 年版採点規則を以下のように部分変更する。

### <短い演技>

演技の実施と芸術性の減点がなされる E スコアの最高点は以下の通りである。

- ・ 6 技以上の実施 = 10.00
- ・ 5 技の実施 = 6.00
- ・ 4 技の実施 = 5.00
- ・ 3 技の実施 = 4.00
- ・ 2 技の実施 = 3.00
- ・ 1 技の実施 = 2.00
- ・ 技がない = 0.00

### <A (0.10) の難度を認められる要素>

以下の要素は 1 技と数えられるが、構成要求には使用できない。

#### 【平均台】

- ・ 伸身とび
- ・ かかえ込みとび
- ・ 前転
- ・ 後転

#### 【ゆか】

- ・ 前方倒立回転
- ・ 側方倒立回転
- ・ 後方倒立回転

### <一般欠点と減点表の追加>

- ・ 前向きでない構成 (段違い平行棒、平均台、ゆか) -0.10/0.30/0.50

### <跳馬>

- ・ 助走：選手が跳躍版や器械に触れていなければ、3 回の助走が許される。  
(余分な助走の減点は適用されない)
- ・ 2 回の跳躍を実施し、良い方のスコアを有効点とする。
- ・ 種目特有な実施減点：支持局面で支持が長い -0.10/0.30/0.50  
第 2 空中局面でダイナミックさに欠ける -0.10/0.30/0.50

### <終末技> (段違い平行棒、平均台、ゆか共通)

実施された終末技によって、以下の加点を与える。

加点はDスコアに加算される。

大過失のある実施にも加点が与えられる。

- ・ A以上の終末技 +0.50

#### <構成要求>

##### 【段違い平行棒】

1. 低棒と高棒で少なくとも1つ以上の技を実施（開始技と終末技を除く）
2. 空中局面を伴う技（終末技を除く）
3. 棒に近い回転系の技（空中局面を伴わない）
4. 倒立を経過する技

##### 【平均台】

1. 180度開脚（前後または左右）または左右開脚屈身のリープ、ジャンプを1つは含む、少なくとも2つの異なるダンス系の技からなる組み合わせ
2. ターン（グループ3）
3. 1つの空中局面を伴う技を含む、少なくとも2つの技からなるアクロバット系シリーズ（同一技でもよい）
4. 方向の異なる（前方／側方と後方）アクロバット系の技

##### 【ゆか】

1. 180度の前後／左右開脚または左右開脚屈身の跳躍技を1つは含む2つの異なるリープ、またはホップ（難度表にある）の直接または間接（ランニングステップ、小さなリープ、ホップ、シャッセ、シェネターンが入った）の組み合わせでの移動
2. ひねり（1回ひねり以上）を伴う宙返り
3. 前方の宙返りを含むアクロライン（片足踏み切りの宙返りは除く）
4. 後方の宙返りを含むアクロライン

注：構成要求の2、3、4はアクロラインの中で実施しなければならない。

#### <構成減点の削除項目>

##### 【段違い平行棒】

「低棒から高棒へジャンプして移動する -0.50」